

～被害者と共に考え、共に歩む～

vol.37

支援センターだより



性犯罪被害者に対し、ワンストップ型の支援を提供できる体制を構築していくために、平成26年2月26日、静岡犯罪被害者支援センターは、静岡県警察と静岡県産婦人科医会と三者協定を締結しました。

被害者は、精神的、身体的被害を受けショック状態にある中で、病院や警察署へ赴き、辛い体験を何度も話すことにより、二次的被害を受けるケースも少なくありません。

そこで、捜査機関と医療機関、相談機関が相互に連携し、性犯罪被害者への情報提供を充実させ、被害者が取り得る手段等の選択肢を増やし、被害者に必要な支援を推進していくと共に、結果として性犯罪の潜在化抑止につながることを願っております。

～目次～

- 「病気・診療所における性犯罪被害者への取組と展望」
(静岡県産婦人科医会 会長 古川 雄一 様)
- 性犯罪被害者への支援における連携・協力体制
- 平成25年度活動決算報告・平成26年度活動予算
- 平成25年度相談受理状況・直接支援状況
- 静岡トヨペットへの「犯罪被害者支援募金箱」設置
- 支援センター新任職員の紹介
- 賛助金納入者・寄付者一覧、寄付のお願い

静岡県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
NPO法人(特定非営利活動法人)

静岡犯罪被害者支援センター



電話相談

054-651-1011

受付時間：10時00分～16時00分

(土・日・祝日・年末年始を除く)



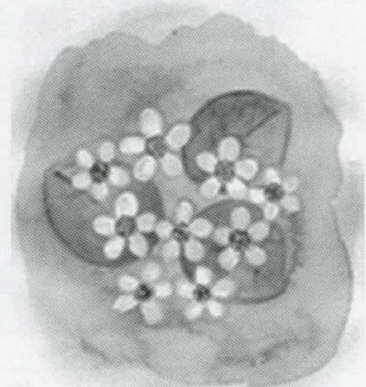
『病院・診療所における 性犯罪被害者への取組と展望』

静岡県産婦人科医会会長 古川雄一

昨年より静岡県産婦人科医会の会長を務めさせていただいております古川雄一でございます。その職務は県内の産婦人科医師の意見を、全国の産婦人科医師の一番大きな組織の中核である日本産婦人科医会本部に伝達すること、そして日本産婦人科医会本部より決定された諸問題の事項を県内の産婦人科医に通達、さらに徹底させることが第一であります。また、今回のように静岡県で独自に締結された事項を周知してもらうことも職務であります。われわれ産婦人科医にとって、現在提起されている最重要問題は少子化対策と産婦人科医師の減少・高齢化問題であります。少子化問題については色々な取り組みが行政より行われておりますが、我々産婦人科医師にとって身近な取り組みのひとつは、性犯罪被害者の方々への対応であります。今回、静岡犯罪被害者支援センター並びに静岡県警察と締結させていただいた内容は、その対応をより現実的なものにしております。性犯罪被害者の方にとって今まで敷居が高かった警察だけではなく、支援センターという新たな機関を紹介することにより、救済を求めておられる方々にスピーディーな対応が

できるのではないかと考えております。しいては検挙率の向上と共に、性犯罪被害者の方の心の傷を少しでも癒すことができれば、少子化対策にも貢献できるのであります。まず始めに被害者の方に接するのが、我々産婦人科医師であります。

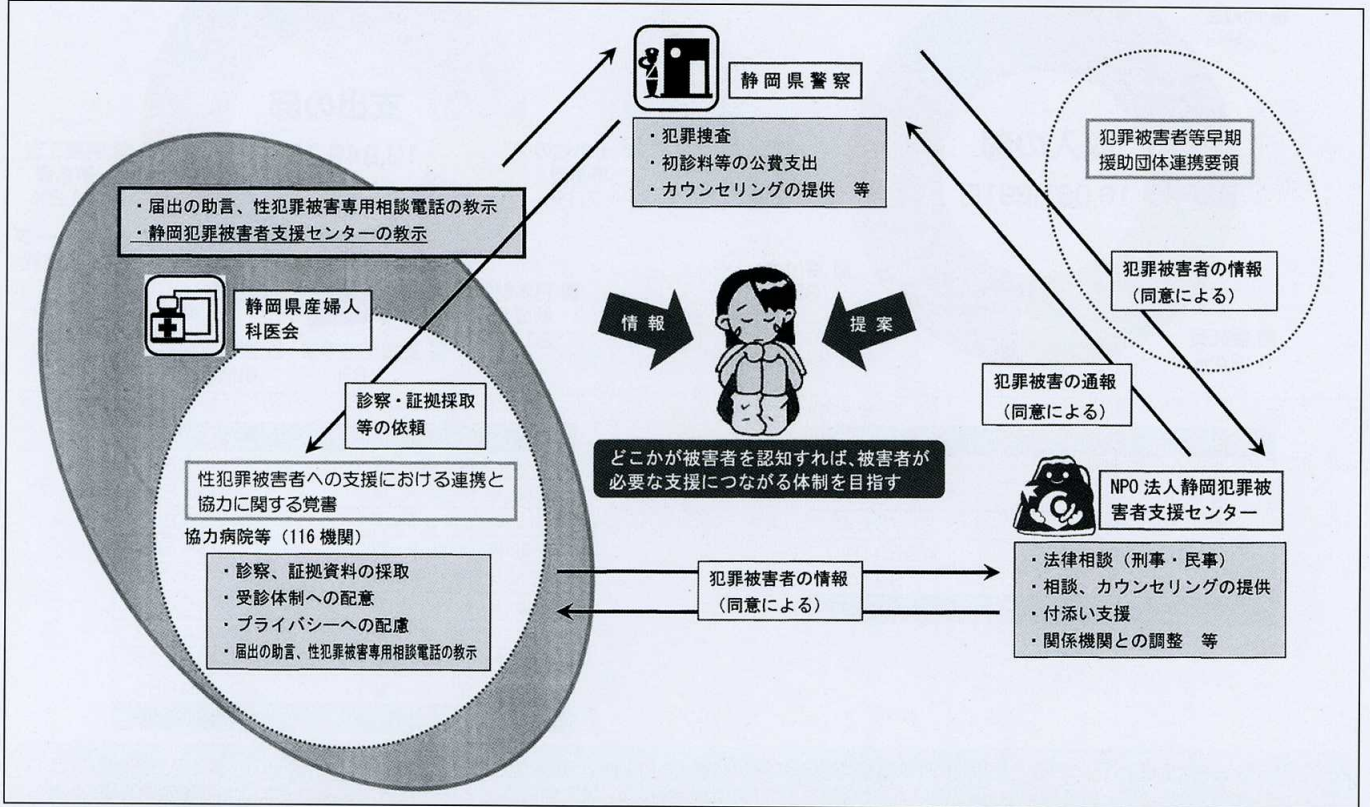
日本産婦人科医会は日本産科婦人科学会と共に作成した産婦人科診療ガイドライン・婦人科外来編2011に、性暴力に遭った女性への対応について記載し、全国の産婦人科医師に適切な対応を求めています。妊娠可能年齢の被害者では原則的に緊急避妊を行う必要性も強調しています。性暴力の被害者の半分は未成年者であり、また加害者の80%以上は顔見知り以上の関係者であります。届出がされない問題はたくさんありますが、性暴力の被害者支援に我々産婦人科医も協力してまいりたいと存じます。



6月1日(日)に開催されました静岡県産婦人科医会の総会におきまして、静岡県警察警察相談課犯罪被害者支援室の村松主任と当支援センター藤原次長が、性犯罪被害者支援への取組やリーフレットの利用方法、更に性犯罪被害者の初診料等の公的負担等について説明をし、出席されていた医師等に協力を呼びかけました。



性犯罪被害者への支援における連携・協力体制



リーフレットも作成しました!!



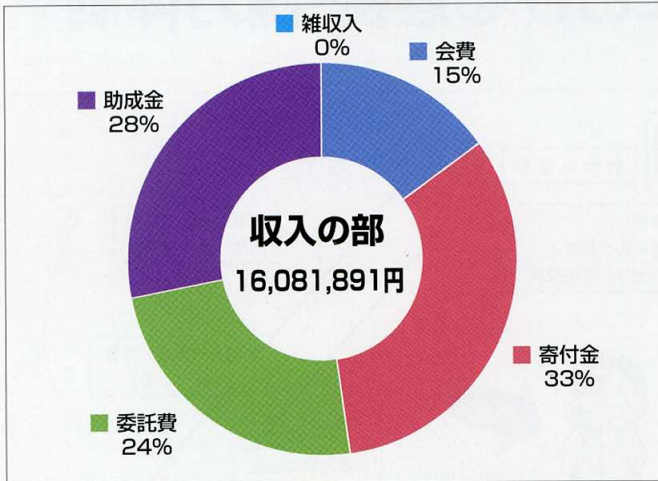
静岡県内の産科・婦人科病院や小学校・中学校・高校・大学等へ本リーフレットを設置していただき、病院を受診された被害者や被害を受けて学校担任や養護教諭へ相談した児童・生徒に対し、情報をいち早く提供し、少しでも多くの被害者の方に安心して相談できる場所があることを周知していきたいと考えています。

また、25年度に実施した車内広告広報活動ですが、遠州鉄道、静岡鉄道、富士急行の電車・バス112台に加えて、本年度から伊豆箱根鉄道、東海バスにおいても車内広告を掲出することになり、静岡全域に当支援センターの周知を図り、病院や警察へも行くことができずに悩んでいる被害者の方に、まずは当支援センターに相談していただけるように、広報活動も積極的に実施していきます。

なや
ひとりで悩まないで...
相談窓口のご案内
そだんまどぐちのごあんない

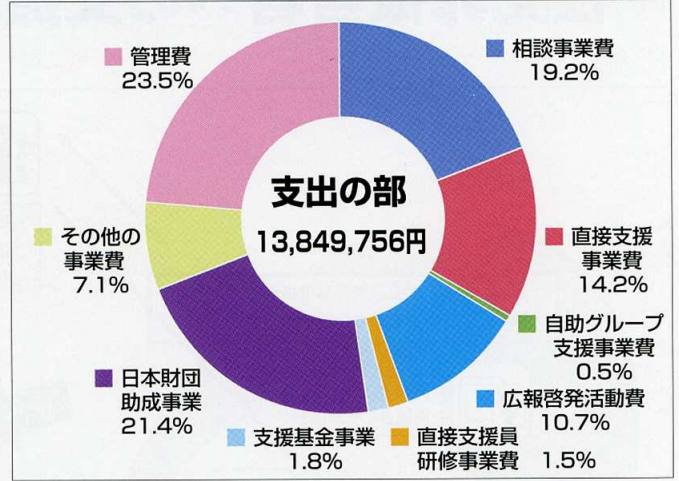
このリーフレットは、性的暴力の被害にあわれた方へ、相談窓口などの情報を提供するためのものです。
静岡県警察、静岡犯罪被害者支援センター、静岡県産婦人科医会は、性犯罪・性暴力被害者を支援するための協定を締結しています。

平成25年度 活動決算報告



(単位:円)

科 目	決 算 額
会 費	2,390,000
寄 付 金	5,233,174
委 託 費	3,875,640
助 成 金	4,550,000
雑 収 入	33,077
合 計	16,081,891



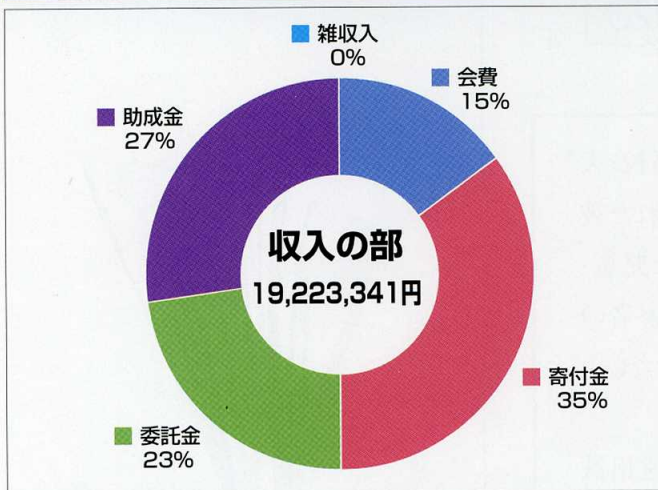
(単位:円)

科 目	決 算 額
相 談 事 業 費	2,661,692
直 接 支 援 事 業 費	1,963,886
自 助 グ ル ー プ 支 援 事 業 費	75,902
広 報 啓 発 活 動 費	1,488,589
直 接 支 援 員 研 修 事 業 費	204,208
支 援 基 金 事 業 費	245,610
日 本 財 団 助 成 事 業 費	2,964,283
そ の 他 の 事 業 費	985,531
管 理 費	3,260,055
合 計	13,849,756

25年度は、日本財団からの助成を受け、財政基盤構築事業や遠州鉄道・静岡鉄道・富士急行の電車やバスにおいて車内広告事業を展開しました。特に、財政基盤の構築事業として、賛助会員の加入促進活動を展開し、新規会員を増やし、更に寄付者の方に賛助会員へと加入していただく等、支援者の拡大を図りました。26年度も引き続き、会員の拡大・会費の拡充に努め、財政基盤の安定化を図り、充実した犯罪被害者支援活動が実施できるよう努めていきます。

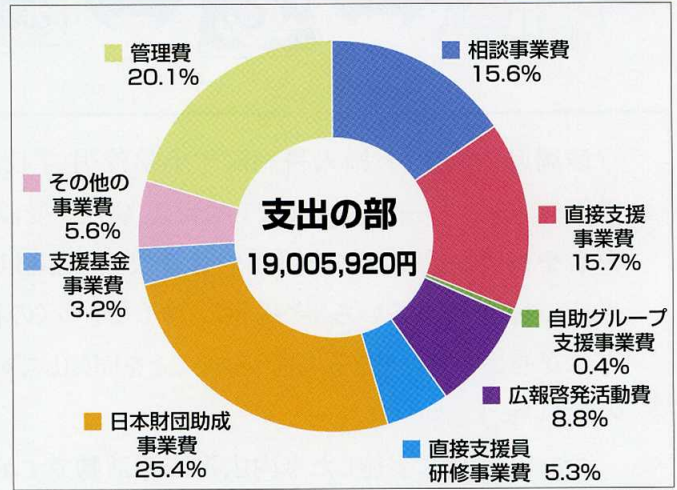
更に、26年度は「全国被害者支援ネットワーク(東海・北陸ブロック)質の向上研修会」の開催県のため、研修事業費が例年に比べ増額しています。これから当支援センターの認知度が増せば、相談や支援活動が増加し、求められる支援も多様化し、県を跨いだ支援活動も増加すると思われます。この研修会を通して、他県の犯罪被害相談員等との交流を深めながら犯罪被害相談員等のスキルアップを図り、実りある研修にしたいと考えています。

平成26年度 活動予算



(単位:円)

科 目	予 算 額
会 費	3,000,000
寄 付 金	6,700,000
委 託 費	4,361,920
助 成 金	5,138,421
雑 収 入	23,000
合 計	19,223,341



(単位:円)

科 目	予 算 額
相談事業費	2,969,380
直接支援事業費	2,987,590
自助グループ支援事業費	68,000
広報啓発活動費	1,670,000
直接支援員研修事業費	1,006,950
日本財団助成事業費	4,830,000
支援基金事業費	600,000
その他の事業費	1,060,000
管理費	3,814,000
合 計	19,005,920

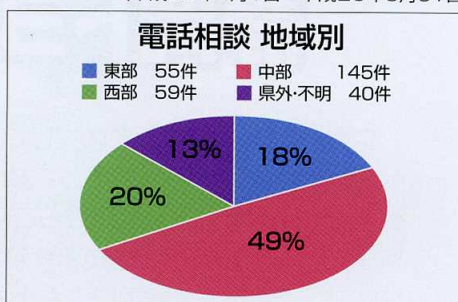
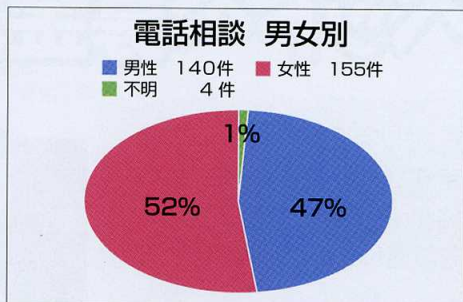
平成25年度 相談受理状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 受理件数

(件)

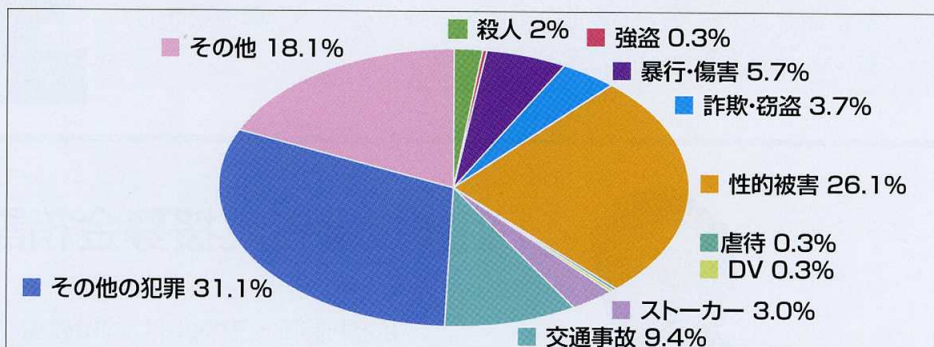
相談内訳	件数	前年比
電話相談	299	83
面接相談	30	5
法律相談	27	4
合計	356	92



2. 電話相談内容

(件)

内容区分	件数	前年比
殺人	6	△3
強盗	1	△1
暴行・傷害	17	△2
詐欺・窃盗	11	△6
性的被害	78	31
虐待	1	0
DV	1	△1
ストーカー	9	6
交通事故	28	2
その他の犯罪	93	54
その他	54	3
合計	299	83



(特徴・傾向)

- ◇ 25年5月から電車やバス内に車内広告を実施していることもあり、相談受理件数が増加した。実際に、車内広告を見て、数年前の被害相談をされた方等があり、被害直後の被害者だけでなく、潜在犯罪被害者の相談につながるよう広報活動も充実させていきたい。
- ◇ 25年度は、性的被害や交通(死亡)事故の相談が増加し、臨床心理士によるカウンセリングや法律相談を早期に実施することができた。また、虐待やDV、ストーカーの相談については、相談者の同意を得て、県警犯罪被害者支援室に連絡をし、相談者の要望に添った解決に努めた。

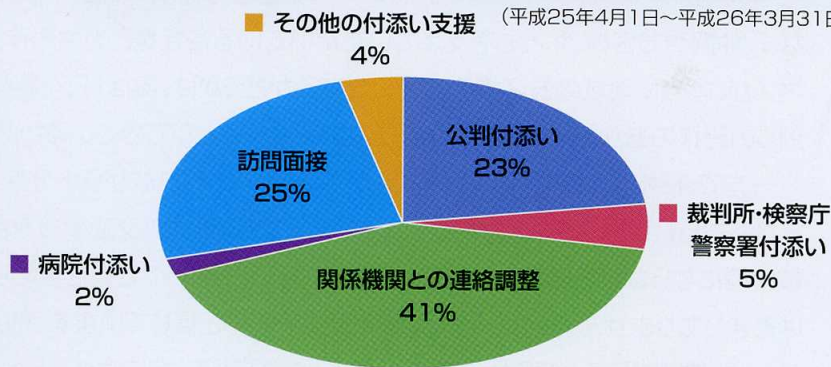
平成25年度 直接的支援状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

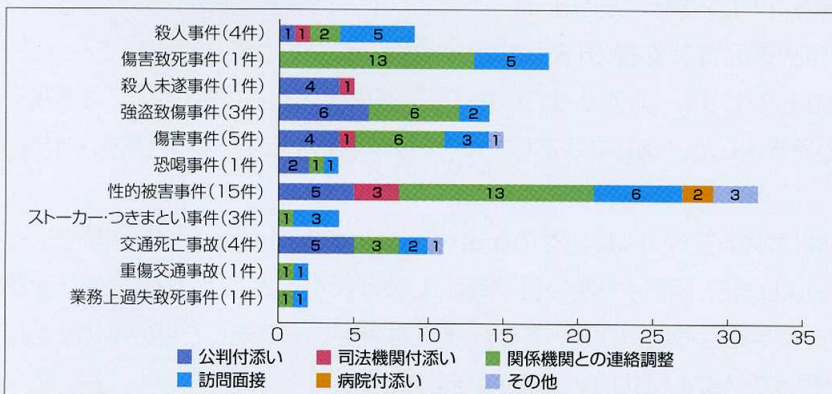
1. 支援件数

(件)

支援内容	支援件数	前年比
公判付添い	27	8
裁判所・検察庁・警察署付添い	6	0
関係機関との連絡調整	47	20
病院付添い	2	1
訪問面接	29	12
その他の付添い支援	5	△3
合計	116	38



2. 事件別件数及び実施回数



3. 情報受理端緒別

(件)

警察情報	26(20)
相談から移行	19(19)
その他	0
合計	45(39)

※()内は、直支移行件数。

4. 地域別

(件)

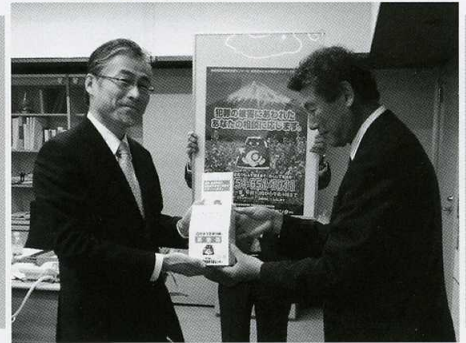
東部	10
中部	15
西部	9
県外・国外	5
合計	39

(特徴・傾向)

- ◇ 25年度は、電話相談から面接・法律相談を実施し、付添い支援へと移行したケースが増加した。
- ◇ 電話相談受理後に法律相談を希望された場合、弁護士会犯罪被害者支援対策委員会の迅速な対応により、早期に弁護士を選定していただき、短期間で弁護士と面談ができ、被害者の不安や負担が軽減できていると感じる。
- ◇ 性的被害事件では、警察署へ被害届を出していない被害者からの相談を受理し、現在も支援を行っている。今後も、被害届を出していない被害者からの相談に対しても、相談内容を把握し、必要な支援を実施していきたい。

『犯罪被害者支援の輪』 静岡トヨペットへ募金箱設置

犯罪被害者支援活動を応援していただける企業や個人の方々へお声をかけさせていただいておりますが、先日、静岡トヨペット株式会社(静岡市葵区長沼)からご連絡をいただき、県内の店舗等45箇所に「犯罪被害者支援募金箱」を設置していただけることとなり、去る5月20日、静岡トヨペット本社をお訪ねし、白井孝一副理事長兼センター長から平光敬和代表取締役社長へと募金箱をお渡しし、募金活動への協力をお願いしました。



「犯罪被害者支援募金箱設置につきまして」

私ども静岡トヨペットは、静岡鉄道グループの一員として静岡県全県内に29のトヨペット新車店舗、6のU-Car店舗そしてレクサス静岡葵、レクサス富士の合計37店舗にてビジネス展開させていただいています。そして静岡トヨペット、静岡トヨペットサービス合わせて700人余りの社員が、地域のお客様とパートナー会社様のご支援のもと日々幸せに、まさに幸せに働かせていただいています。

私どもの仕事は、どれ一つをとっても私ども単独で成り立つものではなく、仲間やお客様、私どもを支えていただいている各社様との共同作業として成り立っています。私どものビジネスが、本当に地域のお客様のお役にたてるかどうかは、実は「日々私たちが幸せに働くことができているのは、周りの皆様のおかげだ」と強く意識をしながら働くことができているかどうかにかかっていると考えています。

一方で、日本そして静岡には、多くの犯罪被害にあわれながら十分な支援を受けられずまさに孤独の中で苦しまれておられる方が少なくないことをお伺いいたしました。交通事故を含め私達は自分たち自身がいつ何時犯罪被害者にならないとは限らないにも拘らず、静岡トヨペット社員を含め多くの方が、そのことに関心を寄せることはあまりありません。私は「人間は素晴らしい」ものと信じています。他人の苦しみを知れば無関心ではられません。まずは知ること知らせること。社員そしてお客様さらにはパートナー会社の皆様にこの活動を知っていただき、関心を寄せていただく始めの一歩となればと願っております。

全くの私事ではありますが、交通事故遺児育英支援の「あしながおじさん」にならせていただいてやがて30年になります。月々の支援額は僅かなものです。一方で私はこの中で「交通事故を起こさない」「交通事故にあわない」という意識を強くすることができました。「あしながおじさん」になって実は私が一番幸せをいただいております。

静岡トヨペットのミッション(使命)は「静岡トヨペットは、日々の仕事を通じて、お客様・社員そして静岡トヨペットを支えてくださるすべての方々を今日より明日、明日より明後日、幸せにし続けます」。人はされたことを仕返す動物であると思っています。愛せば愛が、微笑めば微笑みが返ってくる、そんな社会の一員として世の中のために役立つ静岡トヨペットであり続けたいと思っています。ありがとうございました。

静岡トヨペット株式会社
取締役社長 平光 敬和

支援センター新任職員の紹介



専務理事兼事務局長 山本 強志

この4月から、静岡犯罪被害者支援センターの事務局長をしています。

私は、元警察官で、その大半を刑事部門の捜査に従事し、退職後は保護司をするなど、これまでは、主に犯罪の加害者に目を向けた仕事をしてきました。

他人の痛みは、自分がその立場にならないと分からないと言われますが、共存共生の社会では、被害者こそ最大の当事者として庇護されるべきであるのに、これまで世間から同情はされても、十分な支援を受けることなく置き去りにされてきたように思われます。

当支援センターには40人程の支援員がありますが、不幸にして事件や事故に巻き込まれた被害者や遺族の方々に、身内のように寄り添って色々な相談を受け、病院や裁判所等に付き添い、日常生活の支援をするなど、再出発のための手助けを行っています。

支援員は、犯罪被害に遭って困っている人の杖となって支える活動は、自分に与えられた天職のライフワークとの思いで、強い使命感を持ったボランティア活動をしており、そうした真摯な姿に接し感動しています。

静岡犯罪被害者支援センターは、民間のボランティア団体(特定非営利活動法人)でありまして、その活動資金の多くを企業・団体・個人の皆様方からの賛助金・寄付・募金等の浄財に頼っているのが実情ですので、広く県民にご理解をいただき、財源援助のご協力をお願いしているところであります。

私たちスタッフは、被害者支援の活動が多くの県民に認識されて、地域ぐるみの支援の輪に発展することを願う広報啓発、被害者の方々の多様なニーズに適切に応えるための業務研修、きめ細やかな信頼される支援の実践等、今後も一丸となって被害者支援活動に邁進しますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事務局員(ファンドレイジング専任職員) 小林 暁

私は、この程、静岡犯罪被害者支援センターにファンドレイジング専任職員として勤務することになりました小林暁です。

県警に42年間奉職後、清水地区安全運転管理協会に7年間、会員事業所従業員やご家庭の皆様による交通事故発生ゼロを目指す安管業務に情熱を注ぎ、先頃総会終了を以って退職しました。

時を同じくして、当支援センターから犯罪被害者支援活動充実強化のために勤務してほしい旨お話をいただき、元職の加害者対策中心業務から今度は被害者を支える側に立場が変わる訳で何やら宿命のご縁を直感いたしました。早速、6月14、15日両日開催された東海・北陸ブロックの質の向上研修会に参加する等、支援実態面を学んでおります。

当支援センターの社会的使命は、不幸にして突然、犯罪や交通事故の被害に遭われた被害者やご遺族の方々に決め細やかな支援を永続的に行き、一日でも早く犯罪や交通事故の発生する以前の平穏な生活に戻ることを願い被害者に寄り添った活動を実践していく極めて崇高なものであり、責任の重さに身の引き締まる思いがいたしました。

私は、前職の際に分かりやすい言葉で「交通安全みんなの願い」「お互い様の心」が大切等と繰り返し発信しておりました。当支援センターのキャッチフレーズは『あなたの「こころ」を応援します』であり、相通するものがあると感じています。

方向性を若干変えますが、企業にとって持続可能な社会づくりは大きなうねりとなっており、社員が会社に誇りを持てるようにしないとイケないとする最近のCSR(企業の社会的責任・信頼)の考えもよい方向に変貌しつつあると感じます。

犯罪被害者支援活動の多くはボランティア等々に支えられているとは言うものの、その充実強化のためには安定した財源基盤確立が必要不可欠であります。今後、私のファンドレイジング専任という立場上、県下幅広く支援者の拡大推進・広報啓発活動を目的に活動させていただきます。どうかご支援ご協力の程、何卒お願い申し上げます。



支援センターの運営を支えてくださる皆様

～こころより感謝申し上げます～

平成26年2月1日～平成26年6月30日

アイウエオ順(敬称は略させていただきます。)

浅野 正人	朝比奈 幹夫	麻生 絵美	熱川温泉資料館
熱川温泉粋光	熱川大和館	天野 一	飯田 喜一
井口 登	池田 剛志	池田屋印刷株	石渡 恵
磯谷 美知	磯田 雄二郎	磯田 由美子	(一社)市川交通安全財団
伊東警察署	伊東警察署親睦会	伊東地区安全運転管理協会	磐田警察署
大富運輸株	大庭 茂利	大村 裕二	小川 幹雄
小澤 巖	お宝中古市場沼津支店	お宝中古市場富士本店	織田 史子
落合 安子	小柳津 茂助	勝山 靖久	株加藤オートリペア
加藤 光宏	加藤 由記子	上川陽子事務所	川島 のり子
菊川警友会	菊池 信廣	玉翠館	栗原 藤男
衛幸祐	湖西地区安全運転管理協会	小坂 博	後藤 千代子
小林 暁	株コブレック	櫻井 宏	三光木材工業株
JA静岡市上土支店	JA静岡市あさはた北支店	JA静岡市あさはた支店	JA静岡市足久保支店
JA静岡市安東支店	JA静岡市内牧支店	JA静岡市大河内支店	JA静岡市大里支店
JA静岡市長田支店	JA静岡市久能支店	JA静岡市井川支店	JA静岡市しづはた支店
JA静岡市下川原支店	JA静岡市瀬名川支店	JA静岡市銭座支店	JA静岡市玉川支店
JA静岡市千代田支店	JA静岡市中薬支店	JA静岡市西奈支店	JA静岡市飯間支店
JA静岡市東豊田支店	JA静岡市松野支店	JA静岡市丸子支店	JA静岡市美和支店
(一社)静岡県安全運転管理協会	静岡県企業防衛対策協議会	静岡県警察OB会第34期有志一同	静岡県警察官友の会静岡南支部
静岡県警察友の会御殿場支部	静岡県警察本部運転免許課	静岡県警察本部会計課・施設課有志一同	静岡県警察本部教養課長以下有志一同
静岡県警察本部警察相談課	静岡県警察本部警務部拳銃射撃大会	静岡県警察本部災害対策課	静岡県警察本部少年課幹部会
静岡県警察本部生活安全部生活経済課	静岡県警察本部総務部	静岡県交通安全協会伊東地区支部	静岡県交通安全協会磐田地区支部
静岡県交通安全協会島田地区支部	静岡県交通安全協会下田地区支部	静岡県交通安全協会沼津地区支部	静岡県交通安全協会袋井地区支部
静岡県交通安全協会藤枝地区支部	静岡県交通安全協会富士宮地区支部	静岡県交通安全協会焼津地区支部	静岡県交通安全協会静岡南地区支部
静岡県自転車軽自動車商業協同組合	静岡県司法書士会	NPO法人静岡県ボランティア協会	静岡県遊技業協同組合
しずおか信用金庫	静岡中央警察署初任科短期課程第86期	静岡中央警察署初任科長期課程第97期	静岡中央警察署地域課一班
静岡中央地区安全運転管理協会	静岡鉄道株	静岡保徳株	静岡南警友会
南志太折込広告センター	島元 正彦	清水職場防犯協会	シャクリー工業日本株
准也基金(代表 朝比奈幹夫様)	白井 孝一	白井 正巳	白川 美也子
白土 達夫	杉山 一統	鈴木 龍恵	鈴木 博子
鈴木 雅士	鈴木 礼子	スルガ銀行株	静岡信用金庫
田口 芳徳	田子の浦埠頭株	田中 広子	医療法人社団聖教会 田中医院
中部機電サービス株	塚本 大	坪井 邦彰	株テンイチ
天電警察署	東遠遊技業組合	南東京興業	株戸田書店
鳥羽 茂	内藤 恭治	永野 ひろ子	沼津警察署
沼津警友会	沼津地区安全運転管理協会	根本 泰子	株橋本組
浜北警察署管内職域防犯協会	浜松東地区職域防犯協会	浜松遊技業組合	原木 英三
原田 陽介	POB環境整備連絡協議会春季研修会出席者有志一同	宗教法人日限地蔵尊	福永 博文
袋井警察署	藤生 好則	藤枝警察署	藤枝警友会
藤枝地区安全運転管理協会	富士信用金庫	芙蓉監査法人	星野 健兒
星 泰雄	堀池総代を送る同期会	増井警部補の表彰を祝う会一同	松永 しげ子
松本 喜代子	三島市自治会連合会	三島商工会議所	三島地区安全運転管理協会
三島遊技場組合	宮田 逸江	村田 篤義	明成警備保障株
望月 威男	矢部教官と生徒(46短・48短・53短・81長・84長2学期)一同	山田 起男	山本 強志
株ROKI	若澤 初男	支援センター内募金箱	匿名 13件

寄付型自動販売機設置のお願い

静岡犯罪被害者支援センターでは、売上金の一部が犯罪被害者支援に活用される『寄付型自動販売機』を設置して下さる方々を募集しています。

設置していただける方は、当支援センター事務局までご連絡ください。

☆古本の寄付で、被害者支援ができます☆

～ホンデリング・プロジェクト～

前号で紹介させていただきましたが、古本等をバリューストックへ送付し、査定された金額が、当支援センターの寄付金となります。詳しくは、当支援センター事務局へご連絡ください。

《賛助会員・寄付のお願い》

静岡犯罪被害者支援センターの活動は、皆様の寄付金等で支えられています。当支援センターの主な活動として、電話相談、直接的支援、支援員の養成・研修、広報啓発活動等を行っています。被害者支援活動の趣旨にご賛同いただき、ご支援ご協力をお願いいたします。

賛助会費	法人・団体	10,000円以上
	個人	2,000円以上

賛助会員の方々には、広報誌「支援センターだより」などをお送りしています。また、被害者支援講演会等のイベントを開催する際には事前にお知らせいたします。

【振込口座】 郵便振替:口座番号 00870-7-50944
【加入者名】 NPO法人静岡犯罪被害者支援センター

ホームページアドレス

<http://www.shizuoka-hhsc.jp>

後援

静岡県警察本部
静岡県犯罪被害者支援連絡協議会



発行 NPO法人
静岡犯罪被害者支援センター
〒420-0032
静岡市葵区両替町1-4-15 芙蓉ビル4階
発行月 平成26年 7月